



原水爆禁止
**あいち
平和行進**
2025 5/31-6/11

核兵器なくそう!
NO WAR
NO NUKES

2025年6月12日 (No.12)

あるく

発行: あいち平和行進共同連絡会
連絡先: 愛知県原水協 TEL:052-932-3219 FAX:052-931-2651
mail: gensuikyo@lime.ocn.ne.jp

最新情報はWebで
あいち平和行進 検索 peace-march.peace-aichi.net

エックス @aichi_p_march

6月11日 水
まとめ

扶桑町役場→石作公園→各務原市民プール第2駐車場→岐阜県へ引き継ぎ

◆参加者 のべ 410 人
◆募金 20,080 円 ◆ペナント 40 本
◆折り鶴 2,000 羽
◆自治体協賛金 8,000 円 ◆自治体ペナント 2 本

被爆 80 年のあいち平和行進 12 日間 行進達成 岐阜・各務原で引き継ぎ 成果を 2025 年世界大会へ



扶桑町役場

扶桑町役場で行われた出発集会には 62 名が参加。扶桑町長より、「今年は、戦後 80 年の年。世界では、戦争や紛争、飢餓による犠牲が広がっています。平和を求める皆さんの要求が実現するよう祈念しています」と挨拶がありました。議長からは、「戦争や内戦状態の国が多くあり、一日も早い平和が訪れることが、世界の願いです」と挨拶されました。町長、議長から、ペナント、協賛金の協力を頂きました。行進団を代表して大村美恵さん、わかやま市民生協中山さんのあいさつ。県内通し行進県内通し行進者と原爆の火の紹介の後犬山へ向けて出発しました。市長と議長が庁舎内をともに行進しました。



犬山市 石作公園

石作公園では地元の方たちからよく冷えた

スイカが振る舞われました。

集会では犬山市長からの歓迎のメッセージが代読されました。「ユネスコ憲章の前文には、「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない」とあります。この平和行進が人のこころの中に平和の砦をきずくことにつながり、核兵器廃絶へあゆみにつながることを願っています」。

行進団からは繁澤さんが「通し行進者 15 人で 12 日間歩いてきました。自治体や若者の参加が行進団を後押しし、声をつなげてきています。原爆の火を平和の火としてつなげてきました。多く人の幸せを求めて行進をつなげていきます」とあいさつがありました。



岐阜県への引継集会

大村義則さんが開会挨拶。「被爆者の運動が、核兵器の使用に歯止めを掛けてきた

た。ノーベル賞受賞式ではノーベル委員長が、「草の根の運動」という言葉を使った。被爆者が取り組んできた地道な取り組みが受賞につながっています」。

丹羽洋子副理事長は「2歳で被爆し、姉と父親を亡くした。皆さんに後押ししていただき、皆さんの運動がノーベル賞受賞につながりました」と挨拶されました。コープあいち相澤大輔執行役員は「ウクライナやガサでは紛争が続き心痛めている。生協では、平和に向けて何が出来るかを模索し、①平和に感心をもってもらう。②世界の失態を知ってもらう。③先の戦争の悲惨さを語り継ぐの3点を確認している。核兵器禁止に向け多くの皆さんと頑張っていきたい」とあいさつがありました。続いて、奥田団長より県内通し行進者が紹介されました。新婦人小池さんはから愛知県での取り組みが報告され、原爆の火の消灯式の後、平和行進の横断幕の受け渡しが行われ、岐阜に無事バトンが引き継がれました。



あいち平和行進
まとめ
(暫定)

◆参加者 のべ 5,442 人

◆ペナント 1,000 本

◆折り鶴 約 25 万羽

◆署名 483 筆

◆募金 67 万 1,576 円

◆自治体協力金 90,000 円